

後期計画期間の成果と課題

後期計画期間の目標達成状況と成果、今後の課題は、次のとおりです。

1 全体の目標達成状況

江南市戦略計画の全指標の平均目標達成率は 93.9%となっています。また、達成率 90%以上の指標は全 219 項目中 136 項目で全体の 62.1%に留まりました。

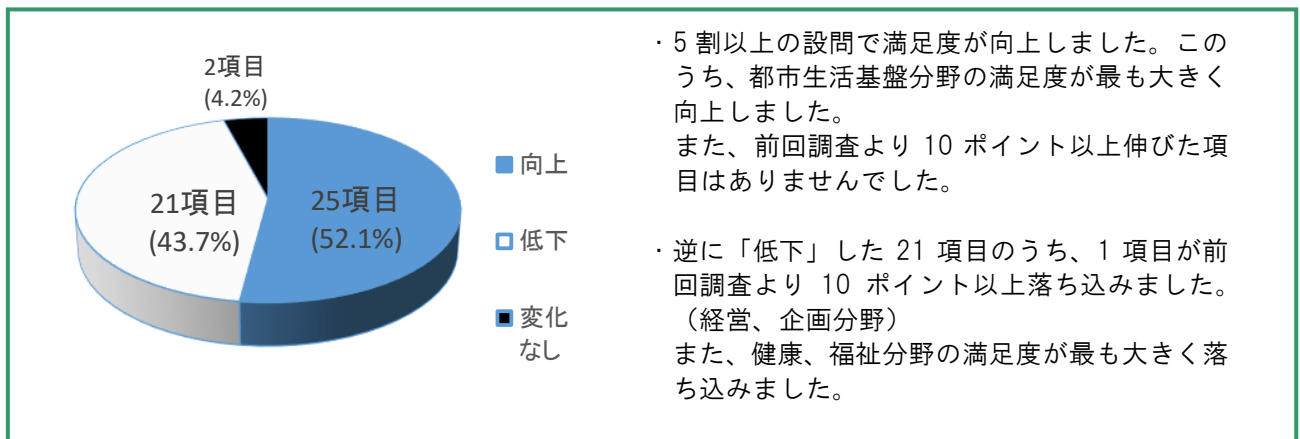
平均目標達成率	93.9%	
	〈項目数〉	〈割合〉
達成率 90%以上の指標	136 項目	62.1%
達成率 70%以上の指標	55 項目	25.1%
達成率 70%未満の指標	28 項目	12.8%

※指標の達成率は、平成 29 年 8 月現在で、実績値が把握できるものの集計
 ※平均目標達成率は次の計算式により算出しています。

$$\text{【計算式】 平均目標達成率} = \frac{\text{全体目標及び個別目標の達成率の合計}}{\text{全体目標及び個別目標の指標数の合計(219 項目)}}$$

《市民満足度の変化の状況》

市民満足度がどのように変化したかを明らかにするため、「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」(アンケート)を実施しました。基本計画掲載の指標のうち、市民の満足度や行動の実践度を表す指標 48 項目について、それぞれ前回調査^{※1}からの満足度^{※2}の変化を確認しました。



※1 前回調査とは、平成 25 年 4 月から 5 月にかけて実施した「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民アンケート」(市民満足度調査)をいいます。

※2 満足度とは 各設問について、5 つの選択肢のうち上位 2 つ(「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答)を選択した人の割合を満足度としています。

2 各分野の目標達成状況と成果、今後の課題

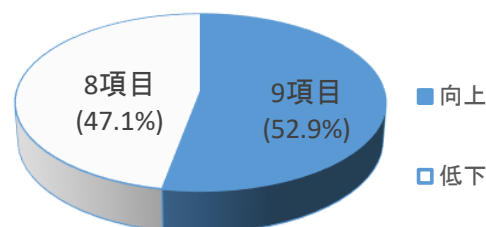
I 生活環境、産業分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	91.2%
個別目標の平均目標達成率	101.7%
柱1 防災・地域防犯・交通安全	92.2%
柱2 消防・救急	104.4%
柱3 市民生活	116.6%
柱4 産業振興・雇用就労	86.9%
柱5 環境保全	88.5%
柱6 ごみ減量・処理	127.9%

全体目標の平均目標達成率は91.2%で、概ね目標を達成している状況といえます。消防・救急体制が整い、また、ごみ減量やりサイクルを取り入れた生活環境により、市民は安心・安全に暮らしている状態にあるものの、「産業振興・雇用就労」、「環境保全」については90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度》



- ・「消防・救急」、「ごみ減量・処理」に関する設問で満足度の向上が見られました。
- ・「防災・地域防犯・交通安全」、「市民生活」、「産業振興・雇用就労」、「環境保全」に関する設問で満足度の低下が見られました。

◆主な成果

- ・地域安全パトロール隊への活動促進、交通安全啓発活動の継続実施により、市民を脅かす犯罪や交通事故の抑止に寄与することができたこと。
- ・平成28年6月からの無線デジタル化に伴い、尾張中・北部圏域で協議し、平成28年4月からの消防指令センターの共同運用を開始することができたこと。
- ・各種相談について、各専門相談員の的確な助言により、相談内容に沿った対応が図られたこと。
- ・企業誘致については、対象区域を企業に積極的にPRするとともに、地権者を戸別訪問し、用地提供への理解と協力を求めたこと。
- ・騒音、振動、悪臭等を発生させる事業所等に立入調査等を実施し、公害の発生を防止してきたことにより、市民の満足度も高まってきたこと。

◆主な今後の課題

- ・コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防災、防犯及び交通安全活動が沈滞化することが危惧されるため、地域の自主的活動を支援していく必要があること。
- ・多様化、大規模化する災害・事故に的確に対応するため、全国的に消防広域化が進められているところであり、大規模な消防体制の構築に積極的に取り組む必要があること。
- ・各種届出や諸証明の交付を受ける際に、市民にわかりやすく利用しやすい、窓口体制を確立する必要があること。
- ・事業者数の減少に歯止めをかけるため、起業・創業に対する取り組み支援や、地域の既存企業や個店の安定的経営の支援及び市外流出の防止を図る施策の検討が必要なこと。
- ・循環型社会形成に向けた市民及び事業者の意識改革を推進するため、さらなる情報提供を図る必要があること。

II 健康、福祉分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	83.7%
個別目標の平均目標達成率	93.6%
柱1 高齢者福祉	86.1%
柱2 子育て	83.1%
柱3 障害者福祉	101.2%
柱4 健康づくり	94.1%
柱5 保険年金	97.2%
柱6 生活支援・福祉活動	93.2%

全体目標の平均目標達成率は83.7%で、概ね目標を達成している状況といえます。障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって安心して暮らしているものの、「高齢者福祉」や「子育て」では、個々の指標の達成状況が低いものもあり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

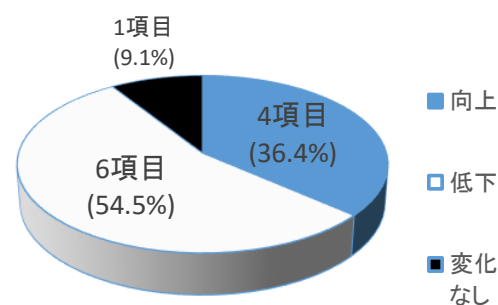
◆主な成果

- ・継続的にシルバー人材センター、老人クラブの活動へ支援することにより、安定的に高齢者の生きがいの場を確保できていること。
- ・0歳児保育実施保育園を11園に拡充し、増加する低年齢児の保育需要に対応できたこと。
- ・障害者個々の状況や必要とする福祉サービスはさまざまなので、聞き取りを的確に行い、状況に応じた福祉サービスを提供することができたこと。
- ・予防接種、妊産婦及び乳幼児の健康診査は、高い接種率、受診率を保つことができたこと。
- ・国民健康保険、後期高齢者医療、子ども・母子・障害者等の福祉医療制度において、給付を実施し、市民の生活の不安を軽減できたこと。
- ・ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会等の関係機関と連携し、生活困難者等の自立に向けて支援を行うことができたこと。

◆主な今後の課題

- ・介護予防や地域での支えあいを促進する事業の展開と、社会から孤立する高齢者への対策が必要であること。
- ・子どもを生み、育てたいという個人の希望がかなうようにするためのサポートが強く求められており、親が子どもを育てやすい環境整備を図る等、積極的に支援する必要があること。
- ・障害者・児やその家族が相談できる身近な場所の確保や、個々のニーズに基づいた必要な支援サービスを受けることができるよう、相談支援や障害福祉サービスの充実に努める必要があること。
- ・健康づくりに気軽に取り組める環境整備として、江南健康マイレージ事業等の取り組みが行われているが、周知度が十分ではなく情報の発信や取り組みやすい環境づくりを行う必要があること。
- ・医療保険制度について、少子高齢化が加速する中で、健全で安定した運営を維持することが求められており、保険税（料）の確保及び医療費の抑制に努める必要があること。
- ・生活困窮者や高齢者等が増え続けている中、これらの方々の自立に向けて経済的支援や生活支援等を充実させ、より一層関係機関との連携を図る必要があること。

《市民満足度》



・前回の調査に比べ、半数以上の設問で満足度が低下しました。

・「子育て」、「健康づくり」の項目において満足度が向上しました。

・「高齢者福祉」、「障害者福祉」、「生活支援・福祉活動」の項目に関する設問で満足度の低下が見られました。

Ⅲ 都市生活基盤分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	92.9%
個別目標の平均目標達成率	91.6%
柱1 市街地整備	100.6%
柱2 道路	84.7%
柱3 公園緑地	98.1%
柱4 下水道	99.0%
柱5 治水	58.3%
柱6 住環境	93.5%
柱7 上水道	99.9%

全体目標の平均目標達成率は92.9%で、概ね目標を達成している状況といえます。公園、水道施設などが整備され、市民は安心して暮らしている状態にあるものの、「道路」、「治水」については90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

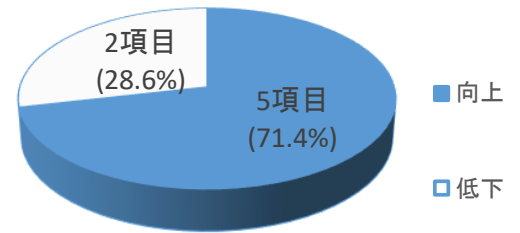
◆主な成果

- ・都市計画道路の整備によるネットワーク化の推進や、安心・安全な歩行空間が確保されたこと。
- ・パトロールや市民からの要望等により確認した箇所について、修繕等適切な措置を講じるとともに、必要性が高い路線を選定し道路を計画的に整備することができたこと。
- ・中央公園園路等の改修や蘇南公園園路のバリアフリー化、公園・児童遊園等のフェンスの改修等を施工し、公園等の整備を図ることができたこと。
- ・平成26年度から平成28年度末までに新たに107.9haの区域を下水道の使える区域にしたこと。
- ・第3次江南市総合治水計画に基づき、公共施設に雨水貯留施設を整備したことにより、豪雨災害による被害の軽減を図ることができたこと。
- ・耐震改修補助について、減災化及び高齢者、障害者等災害時における避難弱者への対応を目的としたシェルター整備に対して補助を行ったこと。
- ・水道料金について、手数料が安価な口座振替による納付を推進し、コンビニ収納による利便性と併せて高い収入率を確保することができたこと。

◆主な今後の課題

- ・社会情勢や財政状況等を踏まえ選択と集中をしながら、布袋駅付近の整備を集中的に施行しているが、遅れている江南駅付近の都市計画道路を始めとした基盤整備が必要であること。
- ・市民が日常的に利用する道路の安定性・利便性の向上に対するニーズが高まっており、限られた財源で計画的、効率的な道路整備及び維持管理を行う必要があること。
- ・花いっぱいコンクールや花いっぱい運動のさらなる普及に努め、市民の緑化意識の高揚を図る必要があること。
- ・愛知県や全国平均と比べると大きく遅れている下水道普及率を向上させる必要があること。
- ・雨水貯留槽、浸透柵、浸透トレンチ及び透水性舗装の雨水貯留浸透施設や浸水防止施設の設置普及に努めるにあたり、いかに広く市民にPRできるのか検討する必要があること。
- ・増加が予想される空家等の利活用を促進する必要があること。
- ・老朽施設の更新など水を取り巻く厳しい社会情勢の中、健全な財政運営が求められること。

《市民満足度》



- ・全体的には満足度が向上しています。主に「市街地整備」、「住環境」の項目で満足度が向上しました。
- ・「公園緑地」、「上水道」に関する設問では満足度の低下が見られました。

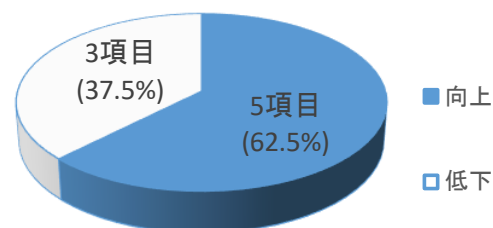
IV 教育分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	84.9%
個別目標の平均目標達成率	91.4%
柱1 学校教育	90.0%
柱2 教育環境	71.8%
柱3 生涯学習	88.8%
柱4 文化・交流	101.1%

全体目標の平均目標達成率は84.9%で、概ね目標を達成している状況といえます。「文化・交流」については、市民の文化活動や国内外の交流が活発に行われ、伝統文化を培いながら心豊かな生活を送っている状態にあるものの、「教育環境」、「生涯学習」については90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度》



・「教育環境」に関する設問の満足度が向上しました。

・「生涯学習」、「文化・交流」に関する設問で満足度の低下が見られました。

◆主な成果

- ・中学校区を単位として、啓発・情報交換・実践活動等を学校・家庭・地域が連携を図り、非行防止等の活動が実施され、即座の対応を図ることができたこと。
- ・職場体験等を実施した結果、その経験により生徒が自分自身で進路を選択する能力の育成を図ることができたこと。
- ・教育現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換を行うことができたこと。
- ・公民館で実施した生涯学習講座では、若い世代の方にも関心を引く内容を実施することにより、世代を通じた参加につながったこと。
- ・近年の社会環境の変化等で、余暇の時間の過ごし方を有効に利用することに関心を持つ年代層（市民）に対し、心豊かな生活を送れるよう、文化芸術活動や交流活動の場を提供したこと。

◆主な今後の課題

- ・職場体験学習において、関係機関とさらに連携を密にして、職場体験学習の受け入れ事業所の拡大を図る必要があること。
- ・心の悩みを抱える児童・生徒やいじめ不登校問題は大きな課題であり、学校・家庭・地域が協力して取り組む必要があること。
- ・高齢者の増加に伴い、「健康・生きがい・仲間づくり」をテーマに実施している高齢者教室の会員を引き続き募集するとともに、高齢者の生きがいづくりの場として、生涯学習講座や図書館事業を有効活用していく必要があること。
- ・市民の高齢化が進み就労の機会がない世代に加え、仕事や子育て、介護等に追われる世代にも文化芸術活動や交流活動を通じて、心豊かな生活を送っていると感じられるような事業の展開を図る必要があること。

V 経営、企画分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	99.4%
個別目標の平均目標達成率	89.5%
柱1 地域経営	72.8%
柱2 行政経営（秘書政策課）	89.5%
柱3 行政経営（行政経営課）	103.1%
柱4 課税・収納	77.7%
柱5 行政事務管理	87.9%
柱6 議会運営への支援	189.2%

全体目標の平均目標達成率は99.4%で、概ね目標を達成している状況といえます。「議会運営への支援」の達成率が高く、その他に「行政経営（行政経営課）」の達成率が良好であり、公平かつ適正な行財政運営が行われている状況であるものの、「地域経営」、「課税・収納」については80%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

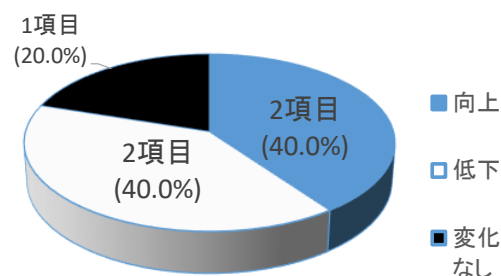
◆主な成果

- ・公募型協働支援事業について、まちづくり評価、行政事業レビュー等の意見を「市民協働・市民活動推進協議会」で検討し、申請書様式の簡素化や相談の充実など改善を積み重ねたこと。
- ・地方分権の進展に伴い基礎自治体の役割が増大する中、各組織が展望や目標を共有し、使命を明確にして、戦略に基づいて効率的で効果的な業務執行ができたこと。
- ・受益者負担の適正化に取り組み、「財政の健全化」と「市民サービスの確保」のバランスの取れた効率的で効果的な行財政運営を行ったこと。
- ・滞納者の実態把握に努め、納税資力のある滞納者には、差押え等の滞納処分を強化したことから収納率の向上が図られたこと。
- ・情報公開制度及び個人情報保護制度について、適正に運用することができたこと。
- ・「市民と議会との意見交換会」の開催や、フェイスブックを活用した情報発信等の議会広報活動により、市民が議会の内容を知り、高い関心を得ることができたこと。

◆主な今後の課題

- ・まちづくりの実践の場は地域であり、区・町内会は地域経営の重要な構成員であると同時に担い手であることから、認可地縁団体数の多寡に関わらず地域の自治力を向上させる必要があること。
- ・地方自治体を取り巻く社会経済情勢がめまぐるしく変化する中、市民満足度の向上を目指した政策を推進する必要があること。
- ・引き続き行政改革に取り組み、限られた経営資源の中で最大の成果を上げる経営の実現に向け、着実に推進していく必要があること。
- ・平成28年度から導入したマイナンバー制度の活用や、統合型GISの活用について引き続き検討していく必要があること。
- ・プライベートクラウド運用による災害対策とセキュリティの向上を図る必要があること。
- ・開かれた議会運営のために、議会の透明性を確保し、市民から議会活動についての理解を得る必要があること。

《市民満足度》



・「課税・収納」、「行政事務管理」に関する設問で、満足度が向上しました。

・「地域経営」で10ポイント以上満足度が低下した設問が見受けられました。